

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	広島支部	(2)記載者氏名:	佐々木 弘 ^磨	会員番号:	12693	事務局整理記入欄	広島 - 089
分水嶺区分	間	(3)山行日:	2005年	6月	25日	(4)天候	小雨

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

池本 喜浩	11953	佐々木 弘 ^磨	12693					
杉本 陽二	マツダ山岳会							
加藤 弘	登山愛好者							
田村 貴代子	支部友会員							
計			5名	計				名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	立河内川林道終点~立河内/大小丸越え~県境尾根~立川内川林道終点												
アプローチ:	広島~松ノ木峠~六日市新宮町~立河内川林道終点						立河内川林道終点~六日市新宮町~田野原水源公園(幕営)						
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	立河内川林道終点	周防広瀬	131	57	53.42	34	19	55.66	610				
分水嶺到達点W5625	立河内/大小丸越え	周防広瀬	131	58	10.02	34	19	45.41	728	12:50	13:50	B-3	(9), (10)
分水嶺離別点	県境尾根鞍部 (W563の北東)	周防広瀬	131	57	53.28	34	19	41.25	719	14:55		B-3	(9), (10)
歩行終了点	立河内川林道終点	周防広瀬	131	57	53.42	34	19	55.66	610	16:05		B-3	(9), (10)
総歩行時間(休憩時間を除く):											4時間15分		

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

(9)水および植生に関連した特記事項

踏査予定の立河内/大小丸越えからW563 804.7m峰は、島根県と山口県の県境であり分水嶺で東西に走る。北側に高津川水系の支流で立河内川、西側に高津川水系の幸地川がある。又、東側には錦川水系の支流で宇佐川が流れている。立河内川の源流には洪水が出ると流れそうなワサビ畑あった。下山時、歩行開始点の立河内川林道終点では、ムラサキニガナを見ながら、野イチゴを収穫して美味しく食べた。

(10)その他の特記事項

立河内川の林道終点からワサビ畑を経て、その先から分水嶺の県境稜線を目指すも谷間は厳しい数漕ぎの連続だった。途中で仲間の体調が悪くなったので休みながら登る。稜線真下のスギ、ヒノキ林を抜け分水嶺の県境稜線に出るも、広葉樹林帯の雑木と背丈ほどの笹が良く茂り踏査を阻む。予定では西側のW563 804.7m峰を目指すも、諸般の事情で県境尾根の鞍部(分水嶺離別点)から早めに未踏の谷筋を下る。相変わらずの数漕ぎにしごかれたが、無事にワサビ畑の上に出て安心する。次回、大小丸から立河内/大小丸越えに登り、分水嶺の県境稜線をW563 804.7m峰まで再踏査したい。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: W563A:サルナシの花 W563B:ムラサキニガナの花